

私たちの廻りには後世に残したい風景の一つである建物がたくさんあります。しかし、文化財建造物に登録はされたものの、古い建物を良好な状態で維持することは、その費用を始め様々な課題があり、多くの所有者が悩みを抱えている状況でもあります。

愛知県では平成23年6月に愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会が設立され、所有者相互による情報交換や先進事例の見学会、一般公開、表彰など、積極的にその保存と活用、顕彰に係る活動を進めています。

愛知登文会会長 小栗宏次

国登録有形文化財建造物について

文化財建造物を守り、地域の資産として活かすための制度として、平成8年に文化庁で「文化財登録制」が設立されました。

登録有形文化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制というゆるやかな規制を通じて保存が図られ、活用が促されています。

現在、全国の国登録有形文化財建造物数は10,869件あり愛知県は全国で5番目に多い459件が登録されています。

愛知登文会役員

理事(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
理事(副会長)	天野 啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
理事(事務局長)	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
〃	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
〃	寛 清澄	(寛家住宅主屋)
〃	上野 正彦	(岡崎信用金庫資料館)
〃	松平 実胤	(寂光院)
〃	森川 信江	(森川家住宅)
監事	近藤 佳世	(愛知県教育委員会文化財保護室)
〃	佐藤 敏博	(佐藤税理士事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
〃	杉野 丞	(愛知工業大学教授)
〃	小川 芳範	(愛知県立一宮商業高等学校校長)
〃	井澤 知旦	(名古屋学院大学教授)
〃	牧 謙治	(愛知県立一宮高等学校教頭)
〃	西澤 泰彦	(名古屋大学教授)
〃	溝口 正人	(名古屋市立大学教授)
〃	是澤 紀子	(日本女子大学准教授)

愛知登文会のご案内

愛知登文会では常時会員を募集しております。

会員には、当会の会報や行事の案内を配付します。また、会員は各行事に優先的にご参加いただけます。

◆会員種別 どなた様でもご入会いただけます。

正会員	愛知県内に登録文化財を所有する方。
準会員	愛知県外に登録文化財を所有する方。
賛助会員	当会の事業を援助いただける個人または法人。 愛知県内外は問いません。
特別会員	愛知県内の登録文化財を所有または管理する地方自治体。

◆会費

	入会金	年会費
正会員	個人 3,000 円 法人 6,000 円	一口 3,000 円 *個人は一口以上、法人は二口以上とする
準会員	個人 3,000 円 法人 6,000 円	一口 3,000 円 *個人は一口以上、法人は二口以上とする
賛助会員	個人 2,000 円 法人 4,000 円	一口 2,000 円 *個人は一口以上、法人は二口以上とする
特別会員	免除	免除

◆会員数(平成29年5月31日現在)

正会員 65 賛助会員 59 特別会員 16

愛知登文会事務局

住所 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目6番15号先
名古屋テレビ塔株式会社内

TEL (052)-971-8546

FAX (052)-961-0561

E-mail info@aichi-tobunkai.org

H P www.aichi-tobunkai.org

facebook www.facebook.com/aichi.tobunkai



ホームページQRコード



フェイスブックQRコード



愛知登文会

愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

登録有形文化財建造物の保存と活用に係わる活動を行い、日本の伝統文化の顕彰及び保存のための活動を行っています。

愛知登文会の活動紹介

愛知登文会では、平成23年度から現在まで、文化庁文化芸術振興費補助金事業への応募・採択により、3つのプロジェクトを実施しています。

1 文化財所有者プロジェクト

所有者の意識改革や取り組みを促進していくため、所有者アンケート調査や、学習・情報交換の場としての保存・活用講座やシンポジウムを開催しています。

◆ 文化財建造物保存・活用講座 (H23～28)

登録有形文化財の保存・活用を行うにあたっての課題を乗り越えるため、座学や建築視察により、専門家や所有者から講演・解説を受ける場を提供しています。

◎座学テーマ 登録文化財の保存・活用について / 文化財建造物の保存・活用と市民団体の取組み / 所有者の取組みと自治体の支援策 / 歴史的建造物の保存活用を考える / 登録文化財の相続税・固定資産税 / 県外の取組みに学ぶ / 登文会のネットワーク形成にむけて 等
◎視察先 明治村 / 美術珈琲鳳来館 / 建中寺徳興殿 / 小島家住宅 & 旧堀部家住宅 / 墨会館 & 旧湊屋 / 知多岡田の街並み / 八丁味噌カクキュー / 旧加茂郡銀行羽黒支店 & 吉野家住宅 / 有松・棚橋家住宅 & 中濱家住宅 / 旧今泉医院 / 日本福音ルーテル岡崎教会 / 旧市川家住宅 / 森川家住宅 / 鈴木家住宅 / 白井家住宅 / 中定商店 等



座学



中定商店現地視察

所有者の情報交換交流の場にもなっています。

◆ 文化財建造物保存・活用シンポジウム (H23・25)

会の取組を報告するとともに、県民に文化財建造物の貴重さを伝え、保存・活用の機運を醸成していく場として開催しました。

◆ 所有者アンケート調査事業 (H23・28)

県内の登録有形文化財所有者を対象に、保存における課題や活用状況を把握するアンケートを実施しました。

◆ 着物 de 文化財 (H28)

登録有形文化財における民間事業者の事業展開の可能性を検討するため、モニター事業を実施しました。

◆ 特別公開事業 (H26～)

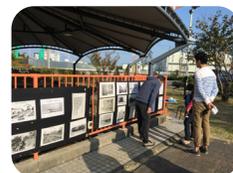
特別公開日を定め、普段公開されていない登録有形文化財の内部を公開しました。あいちヘリテージマネージャーや、なごや歴まちびとに協力を依頼し、建物解説も実施しました。

平成28年度実施対象

◎犬山市 旧堀部家住宅 / 小島家住宅「残月の間」 / 大島家住宅茶室 / 三井家住宅(米清旧宅) / 川村家住宅 / 旧小守家住宅 / 尾関家住宅 / 寂光院 / 興禅寺 / 吉野家住宅 ◎名古屋市 名古屋陶磁器会館 / 日本陶磁器センター / 建中寺徳興殿 / 日本福音ルーテル復活教会 / 東海学園大講堂 / 金城学院高等学校栄光館 / 名古屋テレビ塔 / 寛家住宅 / 鈴木家住宅 / 崇覚寺 ◎知多地方 小栗家住宅 / 半田赤レンガ建物 / 木綿蔵ちた / 知多岡田簡易郵便局 / 旧岡田医院(雅休邸) / 三井家住宅(大庄屋) / 中定商店 / 旧国鉄武豊駅駅舎 ◎三河地方 八丁味噌本社事務所 / 岡崎信用金庫資料館 / 日本多忠次邸 / 旧愛知県第二尋常中学校講堂 / 旧石原家住宅 / 旧愛知県岡崎師範学校武道場 / 善立寺 / 愛知大学日本館(愛知大学記念館) / 豊橋市民俗資料収蔵室 / トヨタック本社社屋 / 白井家住宅 / 大野宿鳳来館・旧料亭菊水 ◎尾張地方 柴田家住宅 / 瀬戸永泉教会礼拝堂 / 旧山繁商店 / 一宮市尾西歴史民俗資料館別館 / 墨会館 / 旧湊屋 / 木曾川資料館



旧小守家住宅



旧国鉄武豊駅駅舎



瀬戸永泉教会

2 文化財子どもプロジェクト

文化財建造物保存の将来の担い手となる子ども達に対して、文化財に親しむ様々な機会を提供しています。

◆ 子ども文化財体験事業 (H23～27)

小中学生を対象に、登録有形文化財の体験講座を実施し、その価値を肌身で体感できる機会を提供しました。



墨会館での折り紙建築づくり



どうだん亭での絵手紙教室

◎これまでに実施した箇所

名古屋陶磁器会館 / 柴田家住宅 / 美術珈琲鳳来館 / 実相寺 / 小栗家住宅 / 豊橋市公会堂 / 日本福音ルーテル復活教会 / 豊田市近代の産業とくらし発見館 / 寛家住宅 / 旧石原家住宅 / 尾関家住宅 / 窯のある広場・資料館 / 棚橋家住宅 / 墨会館 / 岡崎信用金庫資料館 / どうだん亭

◆ 子ども文化財ガイド事業 (H24～27)

登録有形文化財の魅力について、有識者の解説をもとに、自身の言葉で来訪者にガイドするプログラムを実施しました。



1日目: 有識者の解説を受ける



3日目: 来訪者にガイドする

◎これまでに実施した箇所

名古屋テレビ塔 / 半田赤レンガ建物 / 犬山城下町 / 美術珈琲鳳来館と大野のまち / 旧石原家住宅 / 墨会館

以上の活動をまとめた「文化財子どもプロジェクト実践事例集」を発行しました。(H27)

3 地域連携プロジェクト

地域の取組と連携し、人材育成や登録有形文化財のネットワーク化により地域活性化を推進しています。

◆ 観光ガイド育成事業 (H23～26)

地域で活動するボランティアや建築の専門家を対象に、その地域の登録有形文化財の見学会を開催しました。

◎これまでに実施した箇所

九重味淋大蔵 / 安久美神戸神社 / 井上家住宅 / 伊藤家住宅 / 名古屋陶磁器会館 / 柴田家住宅 / 八丁味噌カクキュー / 日本福音ルーテル復活教会 / 滝学園 / 鈴木家住宅 / 木曾川資料館 / 知立神社 / 小野田家住宅

◆ ネットワーク構築事業 (H26)

iPhoneアプリ「登録文化財ナビ」を配信しています。



アプリ画面▶

その他

◆ 全国登文会情報交換会 (H29.3)

全国の登文会のネットワーク形成にむけて、7つの登文会が一堂に会する場を持ちました。

◆ 県外視察 県外の登録有形文化財や取組を視察します。

◆ 情報発信